

## 凡 例

- 1 本目録は、これまで白石市図書館が作成した以下の3つの収蔵資料目録を統合し、1つにまとめたものである。
  - (1) 『白石市図書館収蔵資料目録』(平成11年度)
  - (2) 『白石市図書館収蔵資料目録(追加修正)』(平成19年度・未刊)
  - (3) 『白石市図書館収蔵資料目録 補遺』(平成28年度)
- 2 上記の目録では、資料番号の一部に欠番や枝番が発生していたため、今回新たに資料番号を付した。ただし、分類はしていない。
- 3 今回の改訂では資料番号順、資料名50音順の2通りの配列を作成した。
- 4 目録の記述
  - (1) 目録の記述は、原則上記のものからそのまま転記しているが、一部修正を加えたところがある。
  - (2) 表記は常用漢字を優先的に使用した。
  - (3) 資料の大きさはタテ×ヨコ、単位はセンチメートルで表記している。
  - (4) 資料が同じ帙や封筒に収納されている場合は、備考に「No121・122は一括。」のように記述している。
- 5 印記のうち、「白石市図書館」、「明治記念文庫」などの所蔵印、及び「明治○年○月○日 第○門第○号」など受入日等を示すものは、ほぼすべての資料に押印されているため一部を除き記載は省略した。
- 6 今回の改訂に当たって、白石市歴史文化アドバイザーの荒武賢一朗氏(東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門准教授)に全面的にご指導を頂いた。

2019年3月  
白石市図書館